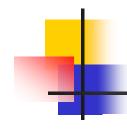


RFC発行直前!? 国際化ドメイン名サイトを 運営するには

2003年1月24日 小島育夫 kojima@nic.ad.jp 社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター





国際化ドメイン名と日本語ドメイン名

- 国際化ドメイン名(IDN)とは
 - IETFで標準化作業が進められているプロトコル
 - ドメイン名を表現するのに使用できる文字を 非ASCII文字に拡張したもの
- 日本語ドメイン名とは
 - 国際化ドメイン名の技術を使用し、日本語で使われる文字で表現されるドメイン名
 - レジストリのサービス仕様





. **華人.商業**.tw

.kr

高島屋.p

三星. .kr

viag nie.qc.ca

•

現代.com ヤフー.com

出典 http://www.jdna.jp/activities/event/jdn-tutorial/IDNSDK.pdf





国際化ドメイン名標準化状況

- 技術仕様が確定し 2002/10/24にRFC化が決定
- 1. IDNA
 - IDNの処理方式を規定
- 2. NAMEPREP
 - 正規化方式を規定
- 3. Punycode
 - プロトコル要素中でのエンコーディング方式を規定
 - 名前解決を確認するための日本語ドメイン名運用試験で採用している方式はRACE







(draft-ietf-idn-idna-14.txt)

- IDNの処理はアプリケーションプログラムで行うというアーキテクチャで、その具体的な処理方式を規定
 - IDNを処理する際の文字コードはUnicode3.2
 - ユーザインターフェース層での入出力は特に規定しない
 - ネットワーク層で、プロトコル要素としてIDNを使用する 場合の正規化方式とエンコーディング/デコーディング 方式として、NAMEPREPとPunycodeの適用を規定





(draft-ietf-idn-nameprep-11.txt)

- Unicodeの文字コードで表現された文字列(IDN)の正規 化処理を規定
 - STRINGPREP(RFC3545)の具体的な適用法を定義
 - STRINGPREPはインターネットのプロトコルで「国際化された」文字列の比較を行う場合に、事前に意味的・表示的に同一の文字列の表現形式を統一するためのフレームワーク
 - 処理手順
 - map: 文字種(大文字・小文字)の統一
 - A → a
 - 2 normalize: 合成記号の合成、互換文字の統一
 - u" →ii
 - カラガ
 - 3 Prohibit: 使用禁止文字のチェック
 - 空白文字など



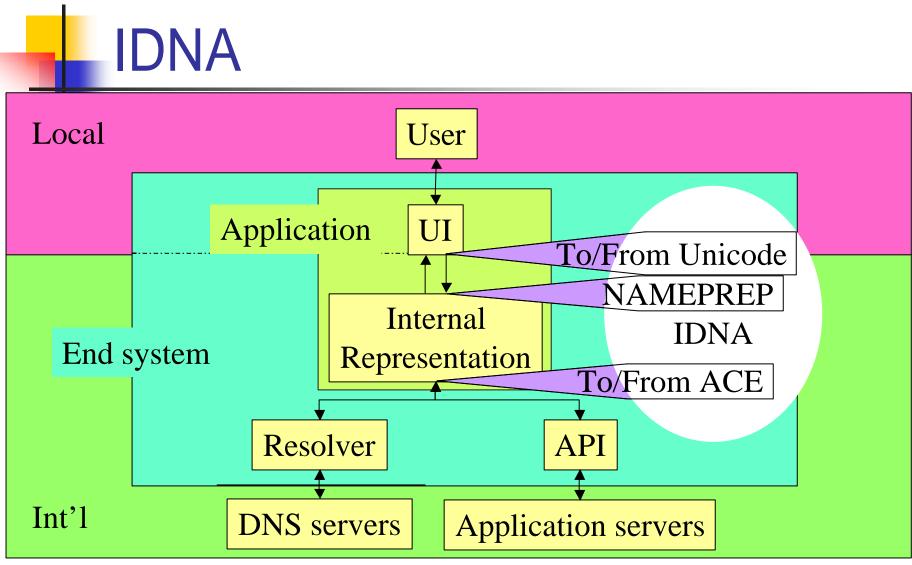


Punycode

(draft-ietf-idn-punycode-03.txt)

- Unicodeのエンコーディング・デコーディングアルゴリズムの一つ
 - ASCIIの英数字(a-z0-9)とハイフン(-)のみでUnicode の文字列を表現
 - ASCII Compatible Encoding (ACE)
 - プロトコル要素でIDNを使用する場合でも下位互換性 を維持
 - IDNで使われることを目的とした特殊な設計
- 変換例
 - unicode文字列←→??--unicode-no0lo10eejx (??の部分はIDNAのRFC発行時にIANAが割当)

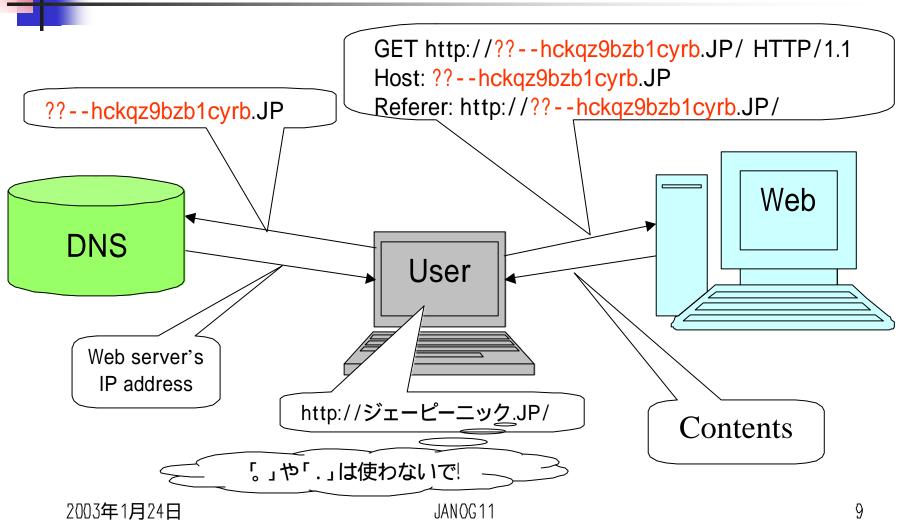








Webサイトのブラウズ



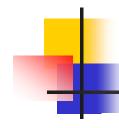




国際化ドメイン名による影響

- DNSソフトウェア(BIND等)の変更や バージョンアップは不要 ネットワーク層では、ASCII文字(Punycode)に 変換され表現される
- クライアントプログラムは IDN/対応したものを使用する必要がある





サーバ管理者への影響

- 各種設定ファイルの管理
 - 日本語ドメイン名などを記述したファイルを、 DNSのゾーンファイルやhttpd.confなどの 設 定ファイルとして、そのまま使用することは で きない。
 - 各種設定ファイルには、ASCII文字(Punycode) を 記述する必要がある。
 変換ツールを使用する。





各種設定ファイルの管理

設定ファイル(日本語版)の編集



変換ツール(idnconv)



設定ファイル(ASCII版)の生成



国際化ドメイン名サイトの運営のために



- dig等のツールをIDN対応版へ変更し DNS 設定内容の確認を行おう!
- 変換ツール(idnconv)を活用しよう!
- 設定ファイル変換のためのWebページを提供すべき?





ユーザへの広報

- IDNA対応クライアントソフトウェアの紹介
 - Mozilla(が第一候補?)
- Plug inなど補助ソフトを使う方法
 - (IE|NN4) + idn wrapper
 - http://www.nic.ad.jp/ja/idn/mdnkit/download/documents/idnkit-1.0pr1-doc/ja/guide/wrapper.html
- RACEなら
 - Opera6/7が対応している(ただし/ D N A 対応ではない)
 - http://www.opera.com/download/
 - \blacksquare IE + i-Nav
 - http://jprs.jp/i-Nav/install.html

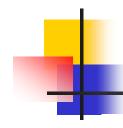




おおいに「論」じよう

- 長いドメイン名とキャッシュの問題
 - 長いドメイン名の名前解決ができない実装がある?
 - より大きなメモリを必要とする
 - BIND8はキャッシュサイズに制限が無い
 - BIND9とdjbdnsはキャッシュサイズに制限があるがキャッシュの効果は?
- IDNA非対応クライアントの問題
 - 非ASCIIトメイン名のDNS queryの影響
 - http://日本語ドメイン名。JP/
 - http://日本語ドメイン名.JP/
 - http://私のサーバ.example.jp/





日本語ドメイン名サイトの設定

- idnkitのインストール
- DNSサーバの設定方法
- Webサーバの設定方法





idnkitのインストール

- idnkitのダウンロード
- コンパイル&インストール
- BINDツールのIDNA化
- RACEを使う場合の注意点
- idnkit 1.0を待てない場合の注意点





idnkitのダウンロード

JPNICのidnkit/mDNkit downloadページからパッケージを入手

http://www.nic.ad.jp/ja/idn/mdnkit/download/index.html

- 現時点の最新版はidnkit -1.0pr2
- RFC対応版(idnkit-1.0)は、RFC発行後にリリース予定
 - 2週間~1ヶ月くらい待ってください





コンパイル&インストール

- 前準備: iconvのインストール
 - idnkitはエンコーディング変換関数iconvを使用するため、iconv()が無い場合やiconv()がUTF-8をサポートしていない場合は、先にインストールを行ってください。
 - http://www.gnu.org/software/libiconv/

インストール

- % gunzip idnkit-1.0pr2-src.tar.gz # パッケージを展開し
- % tar -xf idnkit-1.0pr2-src.tar
- % cd idnkit-1.2pr2
- %./configure --with-libiconv=/usr/local # configureを実行
- % make # コンパイルして
- % Su
- # make install

#インストール





BINDツールのIDNA化

BINDの入手

http://www.isc.org/products/BIND/bind9.html

idnkitに含まれるパッチを適用

- dig&nslookupをIDN対応へ
 - % cd /.../bind-9.2.1
 - patch -p0 < /.../idnkit-1.0pr2-src/patch/bind9/bind-9.2.1-patch</p>
 - % ./configure --with-idn

詳細は以下のページを参照

http://www.nic.ad.jp/ja/idn/mdnkit/download/documents/idnkit-1.0pr1doc/ja/guide/install.html



RACEを使う場合の注意点 (bq--で始まる名前を扱うためには)

■ idnkitインストール時

configureに "--enable-extra-ace" オプションを追 加して実行

- デフォルトのエンコーディング方式としてRACE を使用する場合
 - 設定ファイル(idn.conf等)で idn-encoding <u>RACE</u>



- idnkit 1.0pr2インストール時
 - configureに "--with-punycode-prefix=??--" オプションを追加して実行
- idnkit-1.0に移行するための準備
 - 設定ファイル(idn.conf等)で
 - #_nameprep nameprep-11



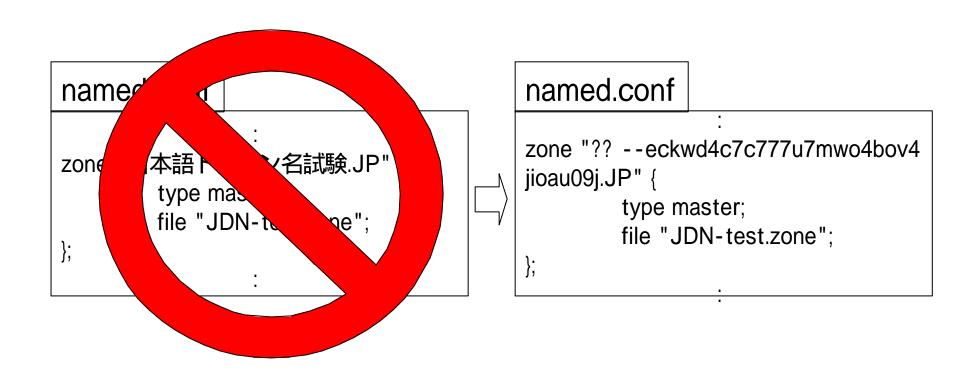


DNSサーバの設定方法

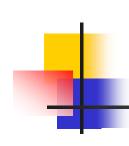
- DNSサーバ(named等)のバージョンアップは不要
- 日本語(多言語)←→Punycodeコンバータは必要
 - idnkitのidnconvを使用
- 一般的な手順
 - 1 エディタで設定ファイル・ゾーンファイルを編集
 - 2 コンバータでエンコーディング変換
 - 3 ネームサーバに(再)読み込み
 - 4. 設定確認



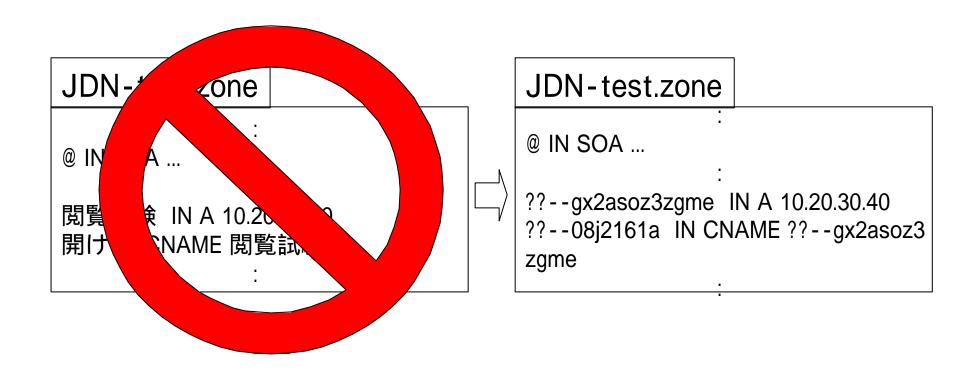
DNS設定 (BINDのnamed.confの場合)







DNS設定(続き) (BINDのゾーンファイルの場合)





DNS設定(続き) (BINDの場合)



- Makefileを使うと維持が簡単
 - ■編集するファイルとネームサーバが読み込むファイルを分け、前者から後者を自動生成

```
.SUFFIXES: .conf .conf-j .zone .zone-j
```

.conf-j.conf:

idnconv \$< > \$@

.zone-j.zone:

idnconv \$< > \$@

all: named.conf JDN-test.zone



```
JPA
```

```
myzone.def-j
```

```
:
zone "日本語ドメイン名試験.JP" {
    type master;
    file "JDN-test.zone-_ACE_";
};
```

Makefile

```
.SUFFIXES: .def .def-j .zone-punycode .zone-race .zone-j .def-j.def:

idnconv $< \cdot \sed 's/_ACE_/punycode/' > $@ idnconv -o RACE $< \cdot \sed 's/_ACE_/race/' >> $@ .zone-j.zone-punycode:

idnconv $< > $@ .zone-j.zone-race:

idnconv -o RACE $< > $@ all: myzone.def IDN-test.zone-punycode IDN-test.zone-race
```





DNS設定の確認

- DNS検査ツールとコンバータの組合せで
 - % alias idig 'dig `echo !* ¦ idnconv` `BINDツールのIDNA化を行っていない場合上記のような設定が必要
 - % idig 日本語ドメイン名試験.jp
 - <u>出力はACE形式</u>
 - % idig 日本語ドメイン名試験.jp l idnconv -r
 - 出力は日本語





```
% which idig
        aliased to dig `echo!* | idncony`
|% idig @ns1.nic.ad.jp 日本語ドメイン名試験.jp
: <<>> DiG 9.2.1 <<>> @nsl.nic.ad.ip bq--3bs6kzzmrkpdbsiq4evkimhtkqgvuzu2cm.ip
;; global options: printemd
;; Got answer:
  ->>HEADER<<- opcode: QUERY, status: NOERROR, id: 59632
;; flags: qr aa rd ra; QUERY: 1, ANSWER: 1, AUTHORITY: 2, ADDITIONAL: 2
;; QUESTION SECTION:
:bg--3bs6kzzmrkpdbsig4evkimhtkggvuzu2cm.ip. IN A
:: ANSWER SECTION:
bq--3bs6kzzmrkpdbsjq4eykimhtkqgyuzu2cm.ip. 86400 IN A 202.12.30.250
:: AUTHORITY SECTION:
bg--3bs6kzzmrkpdbsig4evkimhtkggvuzu2cm.ip. 86400 IN NS ns1.nic.ad.ip.
bq--3bs6kzzmrkpdbsjq4eykimhtkqgyuzu2cm.jp. 86400 IN NS ns2.nic.ad.jp.
;; ADDITIONAL SECTION:
nst.nic.ad.ip.
                       86400
                               IN A
                                            202.12.30.33
ns2.nic.ad.jp.
                                               202.12.30.133
                       86400
l:: Querv time: 8 msec
```







```
% which idig
       aliased to dig `echo !* | idncony`
|% idig @ns1.nic.ad.jp 日本語ドメイン名試験.jp | idnconv -r
; <<>> DiG 9.2.1 <<>> @ns1.nic.ad.jp 日本語ドメイン名試験.jp
;; global options: printemd
;; Got answer:
  ->>HEADER<<- opcode: QUERY, status: NOERROR, id: 32376
;; flags: qr aa rd ra; QUERY: 1, ANSWER: 1, AUTHORITY: 2, ADDITIONAL: 2
;; QUESTION SECTION:
;日本語ドメイン名試験.jp. IN A
:: ANSWER SECTION:
日本語ドメイン名試験.jp. 86400 IN A 202.12.30.250
:: AUTHORITY SECTION:
日本語ドメイン名試験.jp. 86400 IN NS ns1.nic.ad.jp.
日本語ドメイン名試験.jp. 86400 IN NS ns2.nic.ad.jp.
;; ADDITIONAL SECTION:
                           IN A 202.12.30.33
ns1.nic.ad.ip.
                     86400
ns2.nic.ad.jp.
                                           202.12.30.133
                     86400
l:: Querv time: 9 msec
```







■追加する場合

% ./add-host 日本語ドメイン名例 jp 192.168.2.3

%./add-host 'echo日本語ドメイン名例.jp|idnconv' 192.168.2.3 digと同様のテクニックが使えます

■ ちなみに表示する場合は...

% sed . $s/\sim./\&:/.$ data|idnconv —r|sed . s/://.





Webサーバの設定方法

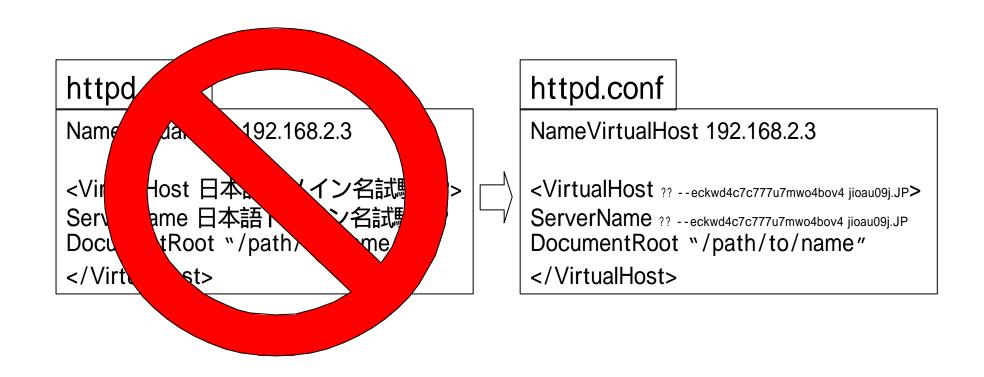
- バーチャルホスト機能を用いて日本語ドメイン名を設定する 1つのWebサーバで1つのドメイン名のみを運用するのであれば、 設定ファイル中でドメイン名を指定する必要はない。
- 一般的な手順
 - 1 エディタで設定ファイルを編集
 - 2 コンバータでエンコーディング変換
 - 3 Webサーバに(再)読み込み
 - 4. 設定確認





設定ファイルの編集

(Apacheのhttpd.confの場合)







日本語ドメイン名のコンバート

idnconvを用いてコンバート

% idnconv < httpd.conf.euc > httpd.conf





Webサーバの確認

■ IDN対応のブラウザを用いて閲覧確認

(P u n y c o d e に対応しているブラウザはない (早く出て 来て欲しい))

- A:RACEならOpera6/7が対応している(ただし/ 0 N A 対応ではない)
 - http://www.opera.com/download/
- Plug-inなど補助ソフトを使う方法
 - Punycode: (IE|NN4) + idn wrapper
 - http://www.nic.ad.jp/ja/idn/mdnkit/download/documents/idnkit-1.0pr1doc/ja/guide/wrapper.html
 - RACE: IE + i-Nav
 - http://jprs.jp/i-Nav/install.html





ちょっとお知らせ: libidnkitの脆弱性検査

- インターネットのインフラ部分にかかる部分なの で脆弱性があると大変
 - resolverのセキュリティホール(CA-2002-19)
- libidnkitにバッファオーバーフローがないか検査 しようとしている
 - 検査ツールを開発中
 - 出来上がればそれもフリーソフトとして公開する予定
- TAO(通信・放送機構)の「次世代DNSに関する研究開発」の一環で実施
 - http://www.shiba.tao.go.jp/kenkyu/itakua/1438.htm



参考URL

- JPNIC (http://ジェーピーニック.jp/)
 - ドメイン名の国際化 http://www.nic.ad.jp/ja/idn/
 - idnkitダウンロードhttp://www.nic.ad.jp/ja/idn/mdnkit/download/
- JDNA (http://日本語ドメイン名協会.jp/)
 - IETF IDN WGの進捗状況報告 http://www.jdna.jp/activities/survey/idn-wg/
 - 日本語ドメイン名Webサイトへのアクセス http://www.jdna.jp/activities/survey/browsers/
- IETF IDN WG
 - http://www.i-d-n.net/
 - http://www.ietf.org/html.charters/idn-charter.html





